

<障がい福祉サービス事業所向けアンケート> (案)

(目的)

- ・障がい福祉サービス事業所における地域の住民との関わりの実態を把握し、情報共有することにより、今後の地域での障がい、障がい者に対する啓発の取り組みの参考とする。
- ・障がい福祉サービス事業所における手話について、また障がい特性に応じたコミュニケーションの工夫などの実態を把握することで、事業所における今後の取り組みについて協議していく。

(対象者)

市内障がい福祉サービス事業所

1. 地域とのつながりに関することについて

- 1) 貴事業所では、地域の団体(民生委員、自治会など)や企業などから見学などの依頼があった場合に受け入れをしていますか？

はい いいえ→2)へ

はいと回答した人にお伺いします

○年度ごとの受け入れ件数を教えてください

令和2年度の件数 件【種別内訳 】

※例:【民生委員1、企業2】

令和3年度の件数 件(予定も含む)【種別内訳 】

○実際に訪問されたときに、必ず説明するようにしている(伝えている)ことがあれば、内容を記入してください(箇条書きで結構です)

- 2) 貴事業所では、ボランティアの受け入れをしていますか

はい いいえ(理由:)→2. へ

いいえと回答した人は理由を記入してください

はいと回答した人にお伺いします

- ボランティアの受け入れ状況について
- 通年(定期的)に受け入れている
 - イベントなど、期間限定で受け入れている
 - その他()

- 現在受け入れているボランティアに来てもらうようになったきっかけは何ですか
- 元々職員や利用者と個人的なつながりがあった
 - ボランティアセンターに依頼をした
 - 地域の団体などからの紹介があった
 - その他()

○ボランティアを受け入れるにあたっての課題があれば、記入してください。

- 3) 貴事業所が所在する地域が主催する行事で、職員や利用者が参加している行事はありますか？
- 環境整備
 - 避難訓練、防災訓練
 - 自治会や学区のイベント(おまつり、文化祭など)、研修会
 - その他()

2. 手話や聴覚障がいに関する取り組みについて

- 1) 貴事業所で、職員や利用者に向けて手話に関することや聴覚障がいについての学習に取り組んだことがありますか？
- ある ない→2)へ

あると回答した人

- 手話や聴覚障がいについての学習に取り組んだきっかけは何ですか
- 利用者に聴覚障がいのある人がいたため
 - 聴覚障がいのある人を利用者として受け入れるため
 - 職員や利用者が手話に関心があったため
 - 栗東市手話言語条例が施行されたため
 - その他()

○取り組みの具体的な内容と成果について教えてください

例:ろう者に事業所に来てもらい、聴覚障がい者の生活や手話についての話を聞くことで手話に関心をもつ職員が増えた

○継続して実施していますか

している

していない→(理由:

※していない場合は理由も記入してください

手話や聴覚障がいについて、知りたいことは何ですか(複数選択可)

日常会話でよく使う手話

手話の知識(歴史、手話言語についてなど)

聴覚障がいのある人が配慮してほしいこと

手話以外のコミュニケーション方法、手段

3. 意志疎通の取りにくい人のコミュニケーションについて

※聴覚障がいや視覚障がいに限らず、発達障がい、精神障がいなど様々な障がいの特性に応じた具体的な取り組みについて、教えてください。

貴事業所ではどのような取り組み(工夫)をしていますか?(複数選択可)

答えやすい(わかりやすい)言葉を使う

理解しているか、丁寧に確認する

写真や絵カードを提示する

点字を使う

音声で伝える

手話

筆談

要約筆記

文字にする

ジェスチャー、身振り

コミュニケーションボードを使う

その他(